

# ハッピーはっぷす

— H A P S —

六原で新しく始まる「ハップス」の  
活動を紹介する新聞です。

2012.6.12 6月号

今回の取材チーム：ソヨン・グミ・ワケ・ミズホ・ツッチーほか、京都造形芸術大学1・3回生が頑張ってます！

## ハップスの、空き家大改造が始まります！



1階の和室付近



2階から見たはなれ

『ハッピーはっぷす』編集部が訪れた六原学区にある1軒の空き家。この家は、今秋に中庭やはなれ、磨りガラスなどの昔ながらの造りを活かして、ハップスの事務所、また地域の方が利用できるスペースとして生まれ変わります。ボロボロの壁や穴の空いた床に「お化け屋敷みたい」と大騒ぎしていた学生たちも、計画を聞いてわくわくしてきました。これらも『ハッピーはっぷす』では、改装の様子をレポートしていきます。

「ハッピーはっぷす 創刊号」発行日：2012年 6月 12日 [火]

発行：HAPS(東山アーティスト・プレイメント・サービス)

住所：京都市東山区大黒町通松原下三丁目大黒町307-206 TEL：070-6683-7608

編集制作：京都造形芸術大学 芸術表現・アートプロデュース学科准教授、山下里加/同学科アートプロデュース論I受講生 Bチーム

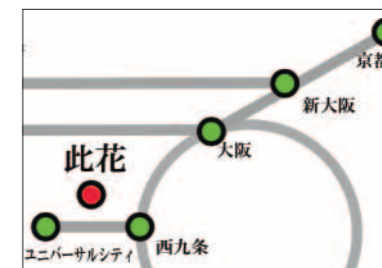
【金昭娟(デザイン)、立野可耶、土屋侑大、中尾めぐみ、西口瑞穂、軒山春菜、深見悠介、山岸優、和家かおる子、山下和俊、湯橋慶和、吉濱芳】

学生  
スタッフ  
が行く！

このはな  
アートと暮らすまち探訪その1 大阪市 此花区編

## 昔ながらの町だから、アートが活きる！

此花区は大阪中心部に程近く、かつては工場で働く人の町でした。しかし工場の海外移転などにより、空き家も目立ってきました。そんな中、古い物件に魅かれた若手アーティスト達が移住しはじめ、様々な活動を行っています。此花区で活動している詩人の辺口芳典さん、アーティストの小林数馬さんの案内でアーティストたちが古い建物を活用した場所を見学しました。



### <梅香堂>

トタン板貼りの倉庫を改装。元美術館学芸員さんが運営する画廊。展示がカッコいい！



### <OTONARI>

梅香堂横のカフェ&バー。運営する溝辺さんの「誰でも気軽に交流できる場を」という想いが叶い、近所の家族連れもお客さんです。



### <黒目画廊>

辺口さんの住居かつ画廊。一見、昔ながらのアパートですが、海外アーティストの展覧会も開かれます。畳の部屋が、国内外の人が集まるおしゃれな場に！活動の時には、辺口さんにご近所への挨拶回りなどの心配りも忘れません。



### <此花メディア>

縫製工場だった建物が、気軽に立ち寄れるアートスペースに変身！アーティストや音楽家などさまざまな人が集まり、アイデアを出し合いながら共同運営しています。制作や展示場所として使う人もいれば、住んでいる人も！



此花区には昔ながらの下町の情緒が残っています。今時珍しいトタンの建物や、玄関先の道路を彩るたくさんの鉢植え達が、どこか懐かしい雰囲気をつくり出しています。

此花はアーティストとまちが  
手を取りあっています◎

▶ 次回は神戸へ！